

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

2019/8/1

りそなホールディングス 市場企画部



○概況

- ◆ 政策金利の誘導水準を10年7カ月ぶりに0.25%引き下げ
 - ◆ 同時にバランスシートの正常化を8月で終了すると発表
 - ◆パウエルFRB議長は今回の利下げはあくまでも「予防的」とし、長期にわたる利下げサイクルの始まりではないとけん制、タカ派的と受け止めた市場は若干失望的反応
- ✓ FRBは7/30-7/31に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、**政策金利を10年7カ月ぶりに0.25%引き下げ、2.00～2.25%とした。**
 - ✓ 声明文では、引き続き「**不確実性の高まり**」に対して「**適切に行動**」するとの文言が据え置かれ、**今後の利下げの可能性について含みを持たせた。**
 - ✓ 同時に、バランスシート正常化（これまで過去の金融緩和時にFRBが買い取った証券等の残高の圧縮を進めていたもの）の停止を従来想定より2か月前倒し、8月で終了するとした。
 - ✓ 今回の利下げに対して10人中賛成が8人、反対（今会合での政策金利据え置きが妥当）が2人であり、満場一致の利下げとはならなかった。
 - ✓ 一方パウエルFRB議長は記者会見で今回の利下げについて「景気サイクル中盤での金利の調整」とし、長期にわたる利下げサイクルの始まりではないとけん制。一部で連続的な利下げを期待する向きもあった市場では、**FRBが想定よりタカ派的**と受け止められ株が失望から下落、ドル円も円安が進行した。
 - ✓ 今回のFOMCでの利下げはあくまでも“予防的”なものに留まり、今後の政策変更についてパウエル議長は柔軟性を持たせた格好。今後のインフレ動向や発表される経済指標を見極めた上で、次回以降の政策変更のタイミングを計るものと見る。

【FOMC参加者の見通し（6月時点）】

	FRB見通し（中央値）			
	2019	2020	2021	長期
実質GDP	2.1	2.0↑	1.8	1.9
3月時点	2.1	1.9	1.8	1.9
失業率	3.6↓	3.7↓	3.8↓	4.2↓
3月時点	3.7	3.8	3.9	4.3
PCEインフレ率	1.5↓	1.9↓	2.0	2.0
3月時点	1.8	2.0	2.0	2.0

【FFレート見通し内訳-FOMC参加者の人数】

	2019		2020		2021		Longer run	
	3月	6月	3月	6月	3月	6月	3月	6月
3.750								
3.625					1			
3.500							1	
3.375			1		1			
3.250							1	2
3.125			2	1	1	1		
3.000							4	2
2.875	2		3		4	1		
2.750							4	3
2.625	4	1	4	2	5	3		
2.500							6	8
2.375	11	8	7	5	5	5		1
2.250								
2.125		1		2		2		
2.000								
1.875		7		7		5		
1.750								
1.625								
平均値	2.493	2.169	2.669	2.213	2.743	2.316	2.797	2.695
中央値	2.375	2.375	2.625	2.125	2.625	2.375	2.750	2.500

 今回FOMCで提示された中央値の利上げベース
 中央値
 【出所】FRB

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。